

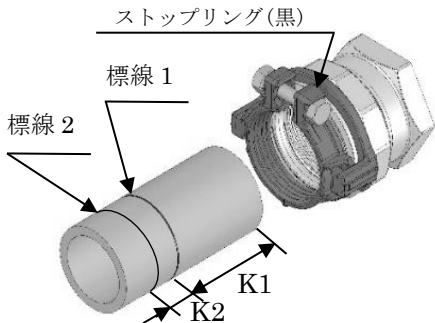
SKX-50（キャップ当て締めタイプ）

SKX® 施工手順 (鋼管用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。

分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで挿し込んで下さい。



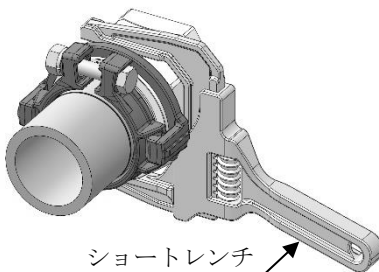
注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。

・滑剤の塗布は不要です。

- ・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

②キャップ本締め

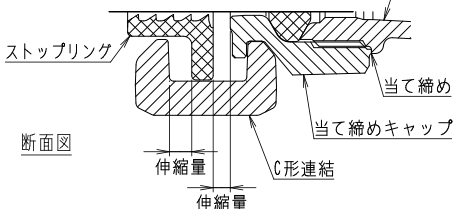
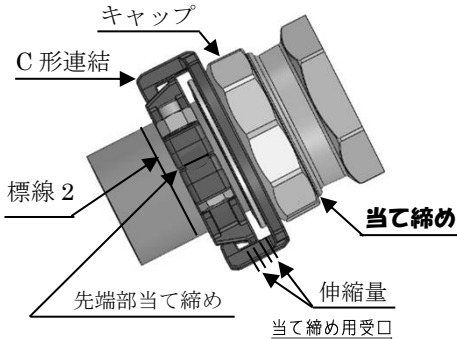
キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップ**を当て締めして下さい。



③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。

ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締めして下さい。



注 2) ストップリングは当て締め後さらに締め付けすぎると破損などの不具合が生じることがあります。

注 3) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注 4)再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

④接合完了

ストップリング端面が 2 本の標線の間にあることを確認してください。

キャップとストップリングの締め忘れを確認
して下さい。

《管の取り外し》

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを
緩めるだけで管と分離可能(分解不要)です。

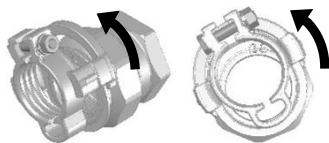
管 呼び径	SR 呼び径 (黒)	キャップ 呼び径	本体 呼び径	K (mm)		キャップ 〔 参考締付トルク 〕 N・m		ストップリング 〔 参考締付トルク 〕 N・m		六角 対辺
				K1	K2					
50	50	G50	50	75	+10 -0	5	当て締め (60)	当て締め (35)		17

注) パイプエンドの場合、K 寸 (K1) は+5/-0 です。

SKXストップリング（SR）交換手順

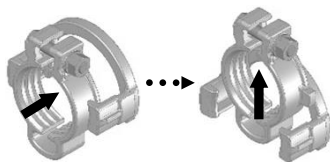
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

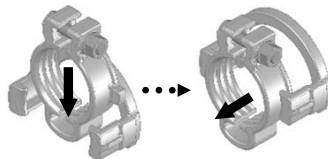
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。

